

助成者	思 沁夫	活動期間	2020年4月～2023年3月
所属機関	一般社団法人 北の風・南の雲	職 名	代表理事

モンゴル国における生物多様性保全教育センターおよび栽培基地の構築

【活動場所】 モンゴル 中央県バトツェンベル

【事業目的】 モンゴルは希少植物が数多く生息する生物多様性の豊かな地域であるが、近年商業目的による違法な乱獲や自然災害の多発・気候変動も影響し、約148種の希少植物が絶滅の危機に瀕している。本事業は、ウランバートル郊外のバトツェンベルに生物多様性保全教育センターをつくり、そこを拠点として子ども、学生、市民へ植物の保全、環境意識を高める環境教育を展開するとともに、有益となる植物栽培方法を見出すことで遊牧民の経済的自立をサポートすることを目的とする。

生物多様性保全教育センター



【活動内容】

- ①生物多様性保全教育センターの基盤整備（境界壁建設工事、水源の確保、屋外トイレの設置、温室ビニールハウス建設）
- ②希少植物の種子（10種類）を購入し試験栽培実施
- ③希少植物の保全と持続的な利用に関する講義と調査活動の実施
- ④環境教育「ふるさとの川を語ろうプログラム」の実施

【活動成果】

コロナにより現地渡航が2年間できず、計画を一部変更しての活動となった。生物多様性保全教育センターは、滞在も可能な十分機能を果たすことができる施設が完成。希少植物の栽培も17種が栽培実験に成功。追加で防風・環境維持を目的とした植樹も行う。「ふるさとの川を語ろうプログラム」は子ども向け環境教育として2年続けて実施。地域の大人と子どもを積極的に巻き込んだ環境教育の実践が、今後も自立的に開催可能な事を確認した。活動の成果は、日本の宍粟市の小学生オンラインで繋いで交流発表会を実施した。

環境教育の様子

